

日刊建設通信新聞（2017年1月5日付2面掲載）

【建設産業界トップ 年頭訓示】

全員経営で社会に貢献

オリエンタルコンサル
タンツ社長 野崎 秀則



わが社は、今期創立60周年を迎える。この節目の期に当たって、いま一度『全員経営』の重要性を共有したいと考える。この『全員経営』とは、役員一人ひとりが『当事者意識』を持ち、仲間を尊重し、チームワークを持って協働することともに、変革と挑戦の気質を持って、自律的・主体的に行動し最善を尽くすことだ。「一人ひとりがOCC」という責任と誇りを持って、社会に貢献しよう。

柔軟な企業へ変革

オリエンタルコンサルタンツ
グローバル社長 米澤 栄二



世界のインフラ需要は途上国、新興国を中心に拡大しており、そこには膨大なビジネスチャンスがある。従来のODA、コンサルタント業務をより一層拡大することともに、新たなビジネスにも挑戦する。多様な国籍の人材による柔軟な企業形態への変革をさらに進める。企業ブランドの向上を図り、オンリーワンのグローバル企業として「世界の人の豊かな暮らしと夢の創造」に貢献していく。